



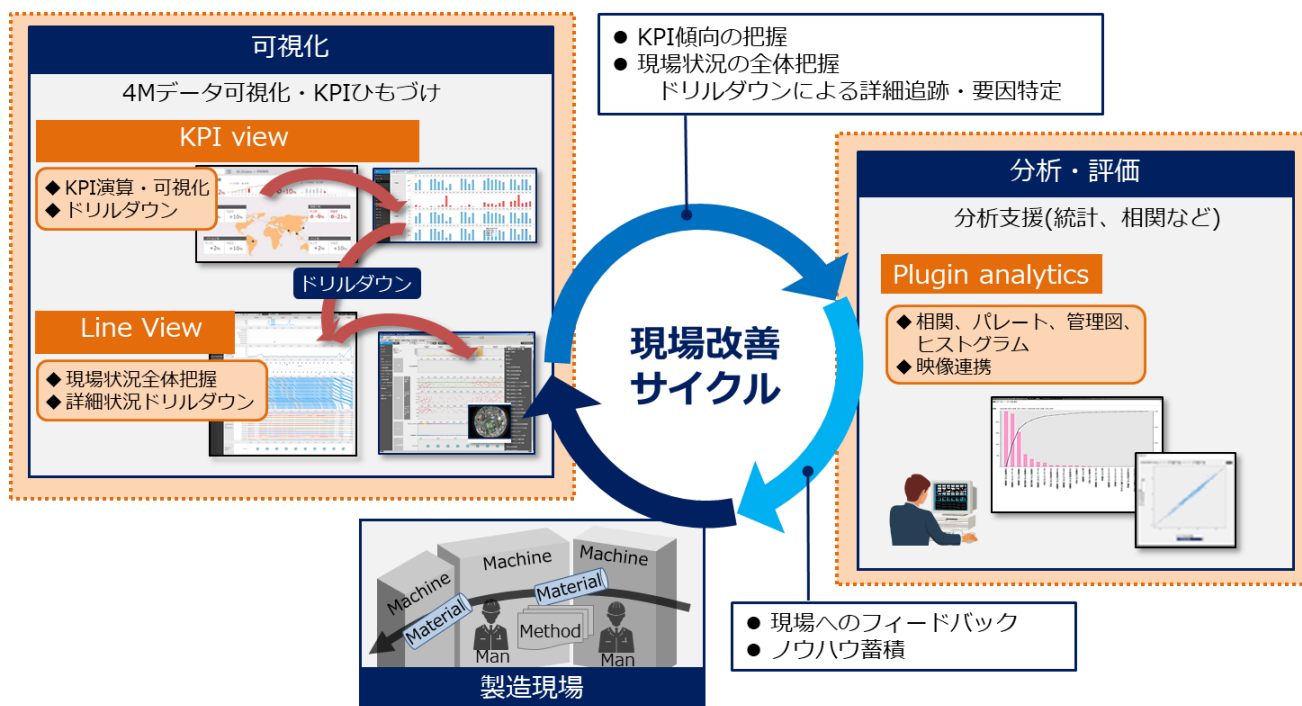
経営・製造ダッシュボードは、製造現場の4Mデータ(Man、Machine、Material、Method)を用いて経営情報から製造現場の状況までのKPIを一元的に見える化し、迅速な意思決定につなげることで、現場改善サイクルを継続的にご支援致します。

経営・製造ダッシュボードの特長

- 1 **4 Mデータを一元可視化し、生産性・品質の課題を“直感的”に把握**
現場データを起点とする各種KPIをリアルタイムに表示し、ドリルダウンによる詳細追跡を可能。
- 2 **時刻を共通軸とし、散在している製造現場の4Mデータを、“時系列表示”**
共通の主要項目でひもづけが困難な4Mデータに対し“時刻”を共通軸に映像まで並列表示 *関連特許出願済
- 3 **経営者～現場までシームレスな情報共有、KPI変調要因の特定を支援**
階層ごとのKPIをシームレスに連動させ、迅速な把握・要因特定・対策を支援

経営・製造ダッシュボード全体概要

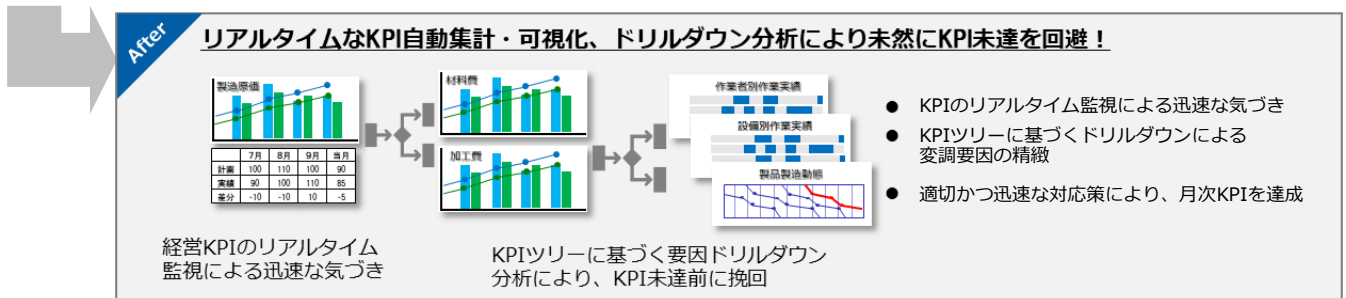
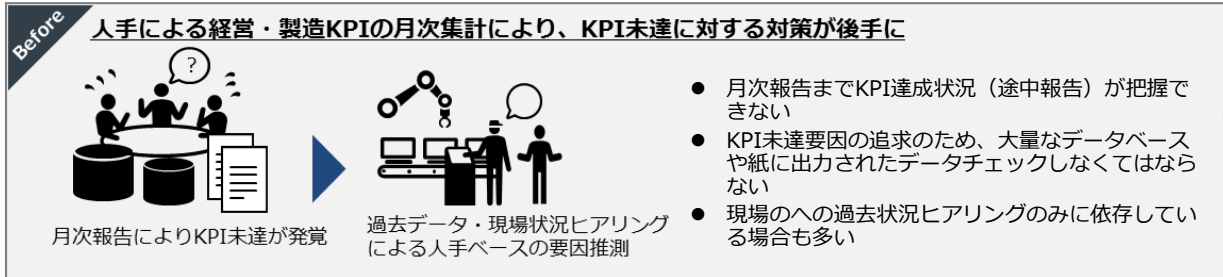
現場4Mデータを収集・加工、時系列に一元可視化するとともに、現場データをもとに各種KPIをリアルタイムに演算・表示することで、各データ間の相関とそれらにまつわる生産性・品質の問題を直感的に把握可能



日立で培ったIoTを活用したお客さま実績をもとに 貴社の課題へお答えします。

導入事例

・[KPI監視→変調要因特定→対策]の流れをリアルタイム化し、KPI未達リスクを最小化



・経営情報から製造現場の状況までのKPIを一元的に見える化しスピーディな意思決定を支援

狙い

経営KPIに直結する生産性・品質課題を効率的に特定し、迅速かつ継続的な経営/現場改善活動を推進する

- ・経営KPI改善のための現場改善策の特定が困難
- ・製造状況の乱流把握、および乱流の原因や波及範囲の特定が困難
- タイムリーかつ根本的な改善策がうていない

効果

現場4M(*)データと経営KPIとのひもづけ・時系列一元可視化により、早期問題発見と根本対策・改善を迅速化

- ・経営KPIから現場データに至るドリルダウンにより、KPI改善のための現場改善策を迅速に特定
- ・ふかん画面および周辺データの時系列一元見える化により、現場の乱流を早期に発見および原因・波及範囲を迅速に特定

(*)4M : Man, Machine, Material, Method

取り組み



特長技術

- 階層ごとの各種KPI間を現場データでひもづけ、時間軸をキーにシームレスに連動させることで、上位KPI変調要因の特定及び迅速な意思決定を支援
- 時刻を共通軸として、製造現場の4Mデータを時系列に一元表示、変調事象に対する周辺データの相関を直感的に把握するとともに、分析プラグイン機能により相関・傾向分析を支援

- * 本資料に記載の情報は、2020年2月現在の情報となります。製品の改良などのため予告なく変更することがあります。
- * 本資料の文章、画像などの無断転載および複製などを禁じます。
- * 本資料に記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

製品に関する詳細・お問い合わせ先

 株式会社 日立製作所